

広報 まつのやま



町制30周年記念式典

(8月14日松之山町民体育館)

1988 **9**月号 (No.151)

9月1日現在 □総人口 4,047人(-6) □男 1,980人(-1) □女 2,067人(-5) □世帯数 1,205戸(-1)
()内は8月1日との比較

おめでとう松之山町

町制施行30周年

88/9月号(No.151)



町制施行30周年“88

町制30周年を記念して

記念式典を挙げる

昭和三十三年、松之山村から松之山町に変更してから三十年、これを記念して八月十四日に町民体育館で記念式典が挙行されました。

この式典には三十周年の実行委員のほか町議会議員、部落総代、教育・選挙・農業・町

史編さんなどの各委員、東京葛飾区の清和小学校の児童三十人など二百人ほどが招待され、盛大に行われました。

式典は町長の式辞から始まりましたが、この中で町長は今年度取り組んで来た三十周年記念事業について話される

とともに、町ぐるみで三十周年を祝ってくれている事に感謝していると述べられました。



出席者全員で君が代を斉唱し、式典が始まる

その後、長く松之山町との交流や協力をいただいた東京葛飾区・株式会社吉池に対し感謝状を贈るとともに記念品の交換が行われました。松之山から贈られた記念品は、

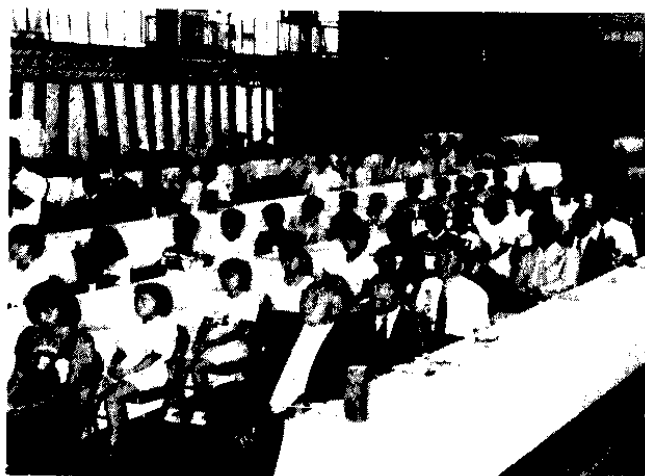
高沢白龍さんの書一点が葛飾区に。また、株式会社吉池には草村慶子さんの絵画が贈られたほか、清和小学校に花木の苗木五本と、「赤くなったカワセミ」のビデオテープが贈呈されました。

また、三十周年を記念してこれまで町発展のため多大な功績をしている三社・六名・一グループの皆さんに対し、町より表彰状と記念品が贈られました。(表彰された方々は別に掲載) 表彰者を代表して浦田豪雪代表、丸山定

一さんが謝辞を行い「この表彰を励みに、町発展・地或おこしに努力します。」と述べられました。

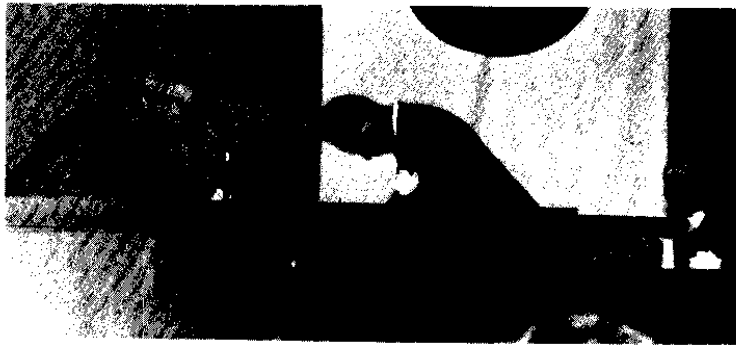
来賓を代表して葛飾区助役の渡辺さんと、株式会社吉池社長の代理の方が祝辞を述べられた後、しその葉で作った色鮮やかなしそジュースが皆さんに振舞われ、約一時間半の式典が終了しました。

十年後、四十周年を祝うとき松之山町はどんな変貌を見せているのでしょうか。



会場中央には松之山の子供たちと親しく交流を続けている葛飾区清和小学校の児童30人が招待されていました。

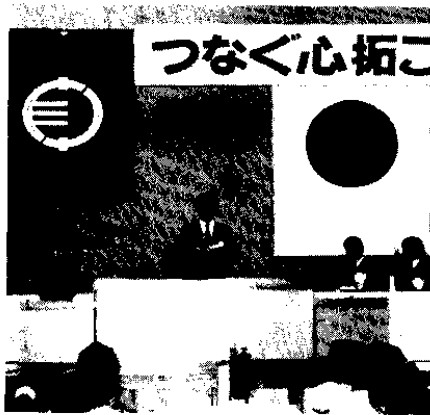
③ まつのやま



町長より東京葛飾区に対し、感謝状と記念品が贈られました。

(葛飾区からは渡辺助役さんが出席)

受彰者を代表して丸山定一さんが謝辞を述べました

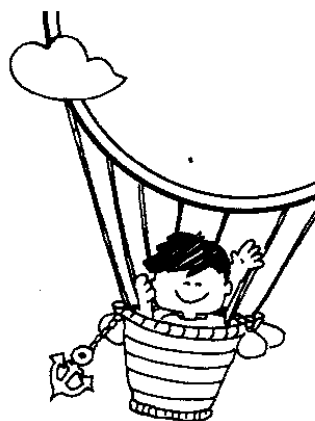


町発展の功績者を表彰 表彰を受けられた皆さん

表 彰 者 名 簿

(敬 称 略)

住 所	氏 名	区 分	功 績 内 容
湯 山	株式会社 高橋組 社 長 高 橋 伸 一	地域経済振興功労	建設事業による地域経済振興
天水島	株式会社 凌雲閣 社 長 島 田 一	観 光 振 興 功 労	温泉旅館の中核としての実績
新 山	有限会社 小島屋製菓 代 表 小 山 政 治	〃	特産 志んこ餅製造販売
湯 本	村 山 健	〃	野鳥愛護、自然保護
浦 田	豪 雪 塾 代 表 丸 山 定 一	町おこし振興功労	都市と農村の交流による地域振興
黒 倉	小 見 重 義	文 化 振 興 功 労	写真による農村文化の向上
松之山	相 沢 和 夫	〃	古文書、調査研究
天水島	高 橋 英 司	農 林 業 振 興	林業振興、きのこ生産
湯之島	山 口 清 治	〃	農業振興、米作No.1
北浦田	本 山 勉	〃	畜産振興、和牛肥育



君は熱気球に乗ったかな！

大蔵寺高原まつり大盛況

昨年から始めた真夏の雪まつり「大蔵寺高原まつり」が八月十三日行われ、町民やお盆帰りの皆さんでにぎわいました。

朝から真夏の太陽が照りつける素晴らしい天候の中、高原の涼しさと雪の冷たさを味わおうと、家族連れを中心に大勢の人が繰り出し、熱気球

早くから家族連れでにぎわう会場



の乗り場には早くから順番待ちの行列が出来ていました。会場入口の売店には、天然の雪で作ったカキ氷も用意され、子供たちの人気を誘っていました。しかし、何といても人気のあったのは「熱気球」。小千谷の熱気球クラブ「越後風船共和国」の皆さんが持ってきてくれた物で、五、六人（大人ばかりだと三、四人）を下のカゴに乗せて、地上二〇m位までフワリ、フワリと浮き上がり、しばし空中散歩が楽しめました。待っている人が沢山のため、浮いている時間が短かくちよつと残念。それでも貴重な体験をしてみようと、暑い中、一時間以上の待ち時間にもかかわらず、長い行列がずつと出来ていました。

雪の上では素足で行う「雪上つな引き大会」が行われ、

十チームの皆さんが出場しました。冷たさを必死にガマンしてのつな引き、最後は足の感覚がなくなるとか。参加された皆さん、本当にご苦労さまでした。

今回もう一つ注目されたのが「ジャンボイワナ」のつかみ取り。小学校三年生以下の子供たちに池に放流したイワナを素手でつかまえてもらうというもので、つかまえたイワナ（一人一匹）は持ち帰れるとあつて、みんなびしょびしょになりながら追いかけていました。

カブト虫プレゼントもあり子供たちにとっては夏休みの楽しい思い出の一日になった事と思います。

夜は星空観望会が計画されていましたが、すごい夕立に



何といっても人気の集中したのがこの熱気球！



熱気球に乗って上から見ると会場がこんな様に見えました。

⑤ まつのやま



今年も冷たいのをガマンして頑張った
雪上つなひき。

見舞われ、急きょ希望館の二階に会場を移動しての上映となりました。松之山下鰯池出身のマンガ家・重野秀一さんの作品を映画にした「バリバリ伝説」が上映され、若者を中心に会場いっぱいのお客様が集まりました。外で見れなくちよつと残念。次の機会に期待しましょう。



今回初めて行われた「ジャンボイワナつかみ取り」。
つかまえたのは持って帰えれるとあってみんな必死。



雪上開放タイム。チビっ子たちはびしょびしょになるのも気にせず遊びに無中。



「やったあ つかまえたー」とうれしそうな女の子。「逃げないうちに袋に入れなくちゃ」

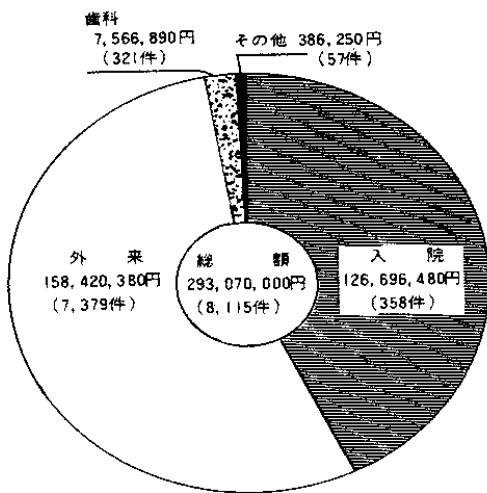


カブト虫プレゼントコーナー。
虫の数が足りず、くじ引きでのプレゼントとなっていました。「ゴメンねノ」

考えてみよう老人保健

老人医療費の総額 2億9,307万円に！ (一人当たり 46万5,930円)

図1 昭和62年度
老人医療費の診療科目別の比較



当町の昭和六十二年度の老人医療費の状況をまとめた結果、総額で二億九、三〇七万円となり前年度と比較すると金額で四、五〇〇万円の増、伸び率が十八・三％の増となりました。

また、これを老人一人当たりすると金額で四六五、九三〇円にもなり、伸び率も十八・八％となったのです。

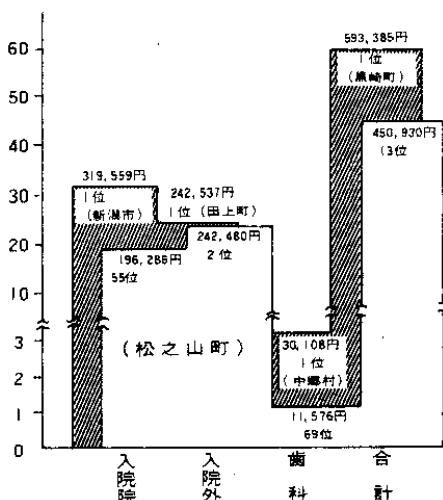
これは、昭和五十八年に現在の老人保健法になって以来いずれも最高の金額でした。では、なぜこのように大きな伸びを示したかを診療科目別に見てみると、入院が前年度比三十四・八％増の一億二、

六六九万円、外来が八・六％増の一億五、八四二万円、歯科が五・一％増の七五六万円、何と言っても入院の伸び率が大きく、これが昭和六十二年の老人医療費全体を大きく押し上げた型となりました。

とくに、入院での高額医療費が多く、一件一〇〇万円以上の請求件数が二十二件もあり、その総金額も二、七二六万円にもなり、入院費全体の二十一％になったのです。

ちなみに、一件の最高請求金額は、二七八万二、七〇〇円でした。

図2 昭和62年度 老人医療給付費
県内における1人当たりの支弁額の比較



外来分 県内第二位に

県公衆衛生課がまとめた資料によると、県内の老人医療給付費支弁額の老人一人当たりの金額は、黒崎町が五九三、三八五円で第一位、次いで新潟市の五六七、六七八円となり、当町は四五〇、九三〇円で県内百十二市町村中、第十三位と高い金額でした。

これを、診療科目別に見てみると入院分が一九六、二八六円の第五十五位、歯科が一、五七六円の第六十九位とそれぞれ真ん中くらいの順位に対し、外来分が第一位の出上

町の二四二、五三七円に次ぐ第二位の二四二、四八〇円と非常に高い金額でした。(図二)

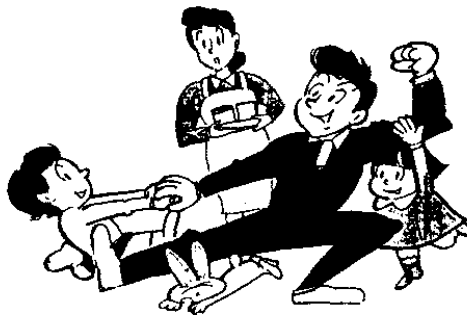
このように、当町は県内でも老人医療費が高い町であり、今後も高齢化が進む中で医療費も年々増大することが予想されます。

昭和五十八年度の老人医療費一億八、九八三万円に対し、昭和六十二年度は、一・五倍強の二億九、三〇七万円でした。

88年9月3

⑦ まつのやま

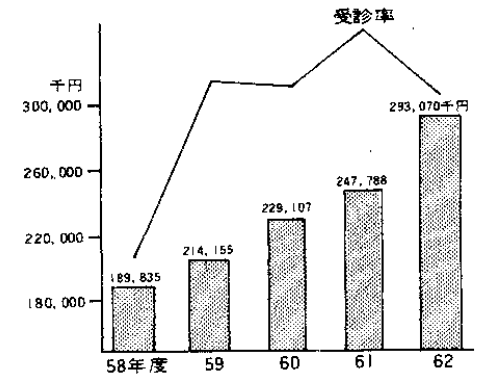
お年寄りになると、どうしてもお医者さんにかかる機会が多くなるのはやむを得ません。一人一人の心がけで必要以上な多受診はしないように、また、日頃から健康管理や体力づくりを進め、町総合検診や定期検診を受け早期発見、早期治療につとめましょう。



健康管理、体力づくりを

老人医療費の財源のほとんどは、若い人たちの負担で賄われており、老人の医療費が増加することは、それだけ若い人の負担が大きくなるわけです。

図3 年度別 老人医療費
及び受診率の比較



七〇歳になったら

満七〇歳（ねたきりのお年寄り）は六五歳以上になると老人保健法の老人医療を受けることができます。

医療を受ける際には、届け出によって交付された「医療受給者証」を医療機関の窓口へ提示することが必要です。

七〇歳の誕生日を迎えたら、「健康保険証」と「印鑑」を持参の上、住民課福祉係の窓口へ届け出をして、「医療受給者証」の交付を受けて下さい。

尚、係でも毎月対象者を把握し、通知しています。

お医者さんに

かかるとき

医療機関で診療を受けるときは、必ず「健康保険証」と老人保健法により交付された「健康手帳」「医療受給者証」を窓口へ提示するよう義務づけられています。

しかし、最近これらを持参しないで診療を受けようとしているお年寄りがいます。こ

のような場合は、老人医療が受けられません。

必ず持参の上、医療機関の窓口へ提示して下さい。



保険証が変更になつたとき

なつたとき

「老人医療受給者証」は、健康保険に加入している七〇歳以上のお年寄りに交付されているものです。

加入している健康保険が変更になったり、また、加入資格がなくなった場合には届け出が必要です。

お早めに、届け出をして下さい。

尚、住所等が変更になった時にも届け出が必要です。

※老人医療に関する

お問い合わせは、

住民課 福祉係へ

新潟県

中小企業設備

リース助成事業

財団法人新潟県中小企業振興公社では、生産設備等をリースにより導入しようとする中小企業者に対し、次の助成を行っています。

仕組みとしては、指定リース会社とリース契約をした企業に対して、毎月支払うリース料の一部を助成するものです。

要件としては、製造業であつて、従業員数が二十人以上の中小企業者です。一件あたりの取得価格が二百万円以上のもので（検査設備は百万円）となっており、合計額は一億円以内です。また、リース期間は三年以上十年以内のもので、

申請方法や詳しい内容等について知りたい方は、役場内振興課、商工観光係まで問い合わせください。

特別養護老人ホーム

「みなかみの里」

職員採用の案内

新井市で建設が進められている特別養護老人ホーム「みなかみの里」で、来年七月開設に向け、施設の職員を募集します。

募集する職種と受験資格は次のようになっており、一次・二次試験の結果により採用が決定されています。

▽職種及び人数

○事務員 一名（高校卒業以上、自動車免許所有者）

○生活指導員 一名（社会福祉主事等の資格を有する者）

○看護婦・看護士 三名（准看護婦以上の資格を有する者）

○栄養士 一名（栄養士免許を有する者）

○寮父母 男六名・女十六名

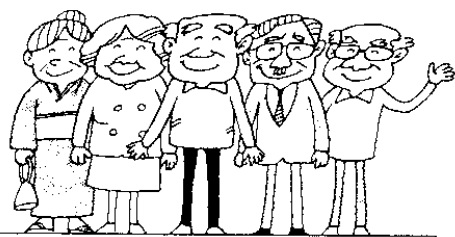
○介助員兼運転員 二名（大型免許所有者）

以上のほか、上越地域に住

所を有する者、又は父母等生計の中心者の住所がある者。資格・免許については昭和六十四年六月までに取得見込みの者を含みます。

受験の受付は、九月十二日（月）～二十六日（月）までの期間に行い、試験は十月二十三日（日）に新井中学校を会場に実施されます。

※各職種には年齢制限等がありますので、詳しい事は役場住民課福祉係にお聞きください。



生ゴミ専用収納力ゴ

町で三分の一補助します

町では、毎週曜日を定めて家庭から出る生ゴミの収集を行っていますが、ゴミ収集車が来るまでの間に猫やカラスによってちらかされる事が多く、大変困っています。

今年、松之山と湯山部落で町の補助を受けて、写真のような鉄製の生ゴミ専用カゴを六基購入して利用しています。利用者からは「猫やカラスで汚れなくてありがたい」と、大変好評なようです。

これから部落で設置を希望される所があった場合、町で購入費の三分の一補助しますので住民課保健衛生係まで申請してください。

価格は大型（松之山部落のもの）五万円。小型（湯山部落のもの）三万八千円となっています。この三分の一補助組み立て式ですので冬などは小さく収納出来るようになっていきます。



松之山部落に設置してあるカゴ
この型は大きい方です。

「わがむらわがまち

自慢の逸品まつり」

開催

近年、「村おこし」「一村一品運動」と名付けられた地域活性化のための特産品づくりが全国的に活発化しており、新潟県においても市町村・商工団体・農協等が様々な取り組みを行っています。

それらの活動を支援し、新しい特産品の販路開拓を図るため、県主催で「わがむらわがまち自慢の逸品まつり」が開催されます。

県内各市町村からバラエティに富んだ特産品が展示即売されるほか、特産品の手づくり実演、特産品プレゼント、県下のミス大集合など楽しいイベントが盛り沢山に予定されています。

◎松之山町からは商工会の野鳥こけしが出店します。

▼会期 九月二十一日～二十
六日まで

▼会場 新潟市 大和新潟店

念願の上鰾池大橋建設に向け

部落をあけて起工式を祝う

冬期間の安全な道路確保に向けて、長い間部落一丸となつて要望し続けて来た。町道東川上鰾池線」の道路改良工事起工式が、八月九日の午後、近藤県道路維持課長を迎えて盛大に行われました。

起工式は上鰾池部落のほと

んどの方たちが見守る中で行われ、県土木関係、町当局、施工業者、部落区長ら多数の方が出席し、工事の着工を喜ぶとともに安全を祈願しました。

この路線には二〇〇メートルを超える大橋や、スノーシ

エイドも建設される予定で、大変経費と時間がかかる大工事となりますが、それだけに地元の期待も大きく、一日も早い完成が望まれています。

起工式後の祝賀会の中で、

祝賀会の席上、小学生全員で一日も早い完成を県の課長にお願いしました。



上鰾池部落の入口での起工式、神官によって工事の安全が祈願されました。



子供からお年寄りの皆さんまで部落民総出で起工式を見守る



近藤県道路維持課長が「一日も早く完成させるよう最大限の努力をします」と、あいさつ



フォトニュース 8月

松之山古絵図展開催

町史編さん室では、八月十一・十四日の二日間、これまで編さん資料として集められた五十八点の「松之山古絵図展」をセンター大会議室で開催しました。

展示された古絵図の主な物は、江戸時代の検地絵図（年貢を取りたてるための耕作面積を記したもの）や、御膳請場絵図（河川の管理・修復するための図面）、村境絵図など

で、古いものは寛正四年（一四六三年）の絵図もあり、真中の資料が多く展示されました。

皆さんの家庭で眠っている古絵図はありませんか。ありましたら是非、町史編さん室まで一報ください。ご協力をお願いします。

電話は役場（六三三二二）の方へ。

2 新潟県美術館所蔵品展 多くの町民が目の保養！

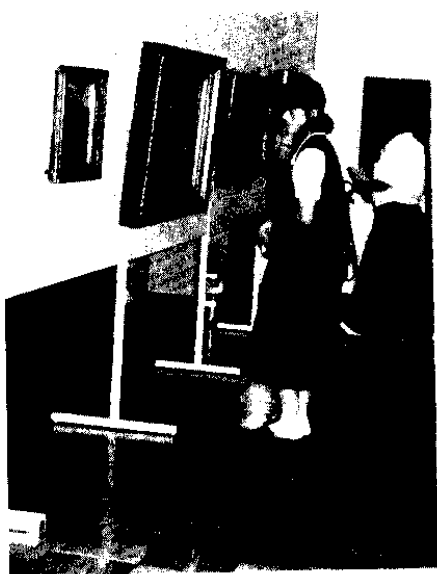
町制施行三〇周年記念事業の一つとして、八月五日～七日にかけて開催された「県美術館所蔵品展」に多くの皆さんが訪れ、日本を代表する作品を鑑賞されました。

展示された三十二点の作品は、いずれも素晴らしい作品ばかりで、中には数億円の価値がある作品もあり、鑑賞に来られた方にとってはとても良い目の保養になった事と思います。

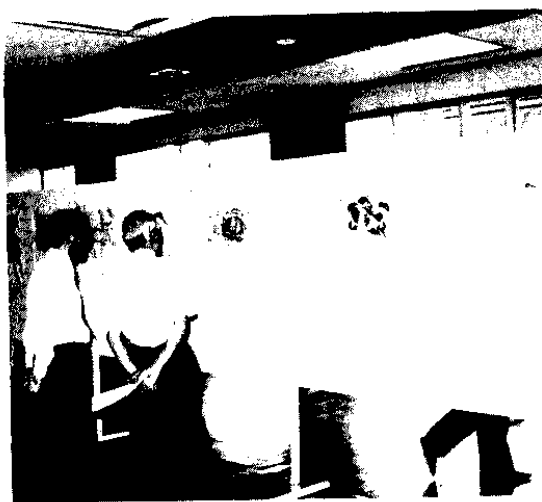
ます。

このような美術展が小さな町で開催されるのは初めてとの事で、開催するにあたり色々な苦労があったようです。

この経験を生かし、これからも「小さな町の美術展」を続けていってほしいと思います。



学生の姿も多く見られた3日間でした。



展示された「古絵図」の中には非常に古い物や貴重な絵図が多くありました。

3 「足を高く上げてフンシウく」 浦田でエアロビクス教室

浦田小学校では、八月三日に地区の皆さんの体力アップを目的に「エアロビクス教室」を開催し、婦人の方や先生など十五人ほどが指導を受けました。

指導にあたってくれた方は、牧村の沖見小学校の斎藤昭子先生で、三年程前からジャズ

ダンス・エアロビクスを始め、今では牧村の方でも週一回か指導されているそうです。

エアロビクスをやっている、心肺機能が高まり余分な脂肪がとれるほか、体力を向上させてスタミナも付くそうです。是非続けてほしい（特に太り気味の方には？）という

事です。

参加した皆さんは思っていたより運動が激しいと、汗びっしょりになりながら頑張っていました。約一時間半みっちり動かされ、とつてもスリムになつて帰えられたようです。



軽快なジャズダンスのリズムに乗って一生けん命身体を動かす皆さん。



雪かま君の中は冷やり まるで天然の冷蔵庫

4 浦田「真夏のかまくら塾」今年も都会人がいっぱい

真夏に雪を使つておもいつき遊びてもらおうという「かまくら塾」。今年が二回目、関東の子供たちを中心に八十名の方が参加してくれました。

八月六日、新幹線やマイカーを利用して浦田入りした一行は、中原の奥に作られたミニゲレンデでさつそく雪遊び。

こんないつぱいの雪は初めてという人がほとんど、大人も子供もスボンや靴をびしょびしょにしながら大はしゃぎ。本当に楽しそうでした。豪雪塾で大活躍の雪かま

も作られており、中に入るとまるで天然の冷蔵庫。思わず「ぞくぞく」とする気持ち良さでした。

おもいつき遊びだあとには「焼肉パーティ」。ウサギ一羽丸焼きコーナーもあつて、子供たちはびっくりにしていました。

民泊先でゆつくりくつろいで迎えた二日目。溪流つりコース・山菜つみコースに別れて、のんびり松之山の自然を楽しんでもらいました。



大人も子供も雪遊びに無中。「やっぱり来て良かった」とある塾生の一言

5 町制施行三〇周年記念

第一回「歩け歩け大会」

8月21日



午前9時30分 3km、5km、10kmのコース別に駐車場を出発

八月二十一日の白曜日に第一回目の「歩け歩け大会」が大蔵寺高原で開催され、一歳から最高齢七十二歳のおじいさんまでの一一六名が参加しました。

コースを選んで歩きます。三キロコースは越の不効社から大展望台まで登る林間コース。(短かいけど一番勾配がきつい)、五キロコースは、峰越林道を行ってキノコ園から大展望台を通って出発点へ。一番長い十キロコースは、林道沿いに深坂峠まで登り、キノコ園の所から大展望台へ



無事ゴールインした人たちを待っていたのはおいしい豚汁。「沢山あるからいっぱい食べて」と女子青年団

て駐車場へ戻る、実質的には十一キロ以上あるコースで行われました。参加者の中には保育園児など小さい子供さんも多かったのですが、三キロの厳しいコースを汗だくになりながら最後まで頑張り歩きました。私も三キロに挑戦してみました。五キロコースよりきつかったです。

十キロコースの参加者も、出発してから二時間三十分後には全員完走し、健脚ぶりを見せました。歩き終わった人には青年団の皆さんが作ったトン汁がサービスされ、一生けん命歩いて減ったお腹を満たしてくれました。

- ▼8月のできごと
- 5日 県美術博物館所蔵品展(7日まで)
 - 6日 浦田真夏のかまくら塾(8日まで)
 - 13日 大蔵寺高原まつり
 - 14日 町制30周年記念式典
 - 18日 議会建設委員会
 - 19日 全員協議会
 - 21日 第一回歩け・歩け大会
 - 23日 戦没者慰霊祭
 - 28日 第一回ミニバレーボール大会
 - 31日 農業委員会総会

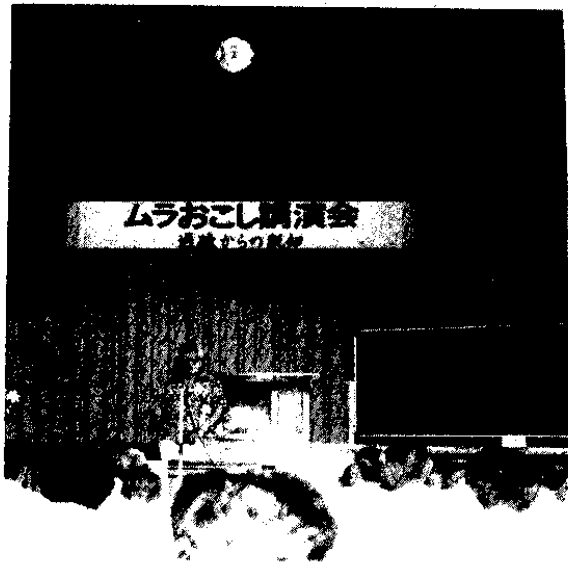
- ▼9月の予定
- 1日 議会産業経済委員会
 - 農業共済嘱託員会議
 - 2日 選挙管理委員会
 - 6日 水稲損害評価打合せ会
 - 8日 議会総務民生委員会
 - 9日 法務総合相談(センタ―)
 - 14日 議会運営委員会
 - 20日 九月議会定例会(21日まで)

こよみ

6 ムラおこし講演会

「ムラおこし講演会——過疎からの脱却」と銘打つ、ユニークな勉強会が八月二十日、旧公民館三省分館の体育館を会場に、地区内外から多くの住民が参加して開かれました。これは、ムラおこしにはまず、地域の人々が主体的な行動を起こすことが不可欠。著名人の話を聴いてそのエネルギーにしよう、と三省分館、講演されました。

演題「地域おこし・農業おこしへの新しい挑戦」
講師 安達 生恒 氏



旧三省小学校体育館で開催された講演会 切実な問題だけに多くの聴講者がありました。

先生はまず、米の輸入自由化問題に触れ、仮に生産者米価を七〇%引き下げると、国内生産量が三百万トンを激減するのに対し、輸入量は八百二十万トンを騰れ上がる。それなのに消費者価格は五〇%しか下がらない——と、米輸入自由化のからくりを鋭く指摘されました。

一方、米が自由化されても「穀城」や「魚沼」の米は、生き残る。一万円のハンカチが売れる時代だ。一万円のハンカチを作るような米作りを目指せと力説、聴衆の心をとらえました。

さらに安達先生は、農家の弟の国際結婚について述べ、フィリピンから花嫁をもらうのは、もらい方に問題があるとして、力ネで買ってきたような結婚の在り方を批判されました。

講演の後の座談会では、体育館に大きな輪が広がり、地域おこしに向かつて活発な意見交換が行われ、意義深い半日を過ごし、「心の栄花」を持ち帰ったのでした。

7 「じりゃーじよんのびだあ」お盆にお風呂のプレゼント

八月十四日から十七日まで、の四日間、浦田に共同浴場が出来て多くの方が利用しました。

これは、浦田豪雪の皆さんが湯之屋地区に古くから湧き出ている「湯田親吉の湯」（源泉一七℃八度）を、浦田中学校までパイプで引っぱり、四十度近くまで熱したもので、匂いはそんなにないものの、非常にすべっこいお湯

だそうです。

特設の共同浴場には朝早くから地元の方が次々と訪れ、四日間で延八〇九百人の方が利用されたと。中には、一日三回も入ったという人もいて、大盛況のようでした。

入浴時間も決められていて、午前は婦人、午後は男性、朝六時から七時までは混浴となっていました。混浴タイムもなかなか盛況だったとか！



浦田中学校に設けられた共同浴場。毎日多くの方が訪れ、のんびりお湯につかっていました。

町史編さん
だより No.15

意外に古かった

松之山町の文化財

私は今から十三年前新潟県

教育委員会の依頼で、県文化

行政課の専門委員玉木哲氏と

松代・松之山町の彫刻・美術

工芸品を調査その報告を新潟

県文化財調査年報第十四に記

しました。今度はまた縁があ

つて松之山町史の調査編集委

員に加わることになりました。

現在のところ松之山の歴史

は、伝説的には大変古く、

文献資料では比較的に新しい

というのが実状であります。

松之山で最も古い史料は、

建武四年(一一五三)足利尊氏が近

臣二木義有を「松山保」の地

頭職に任じた文書です。これ

は新潟県史通史編一(古代・

中世)に採録されています。

おそらく南北朝争乱時代、越

後国(河内)領頸城郡の東端「松

山保」は、足利・新田覚争奪

の地であったことは確なよう

です。また松之山町の諸寺の

寺伝を調査いたしますと、創

立は戦国時代以前を記すもの

はありません。したがって前

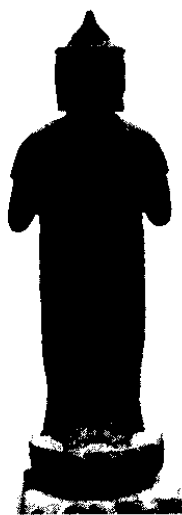
回の調査では「松之山町」に

は室町期以前の文化財が皆無

だと考えて執筆されました。

ところが松之山町大字松之

山(開基村山家)繁茂山陽広



全高35.5cm 肘張10.5cm
胸高 4.5cm

観音寺の木造彩色地藏尊



全高75cm 裾幅19.5cm 裾奥110cm

寺で、はからずも鉄製観音立

像を再調査いたしました。

また松之山町大字観音寺は

本郡三桶村高館の城主、盛富、

康永二年(一四一三)没、盛種、延

文三年(一四三二)没の観音寺開基

を伝える古い寺ですが、南北

朝の兵燹、長禄四年(一四六〇)創

立、江戸時代享保の自火と打

ち続き、なんにも古いものが

残っていないものと思ってい

ました。

ところが今回の調査で、お

よそ南北朝時代と推定される

木造彩色地藏尊像を一見しま

した。

更に観音寺境内を歩いて驚

いたことは、観音寺墓地を含

む島のある同寺の庭園は、室

町様式ではないかということ

でありました。

ところが恩師金原省吾博士

が既に長野大学記要にこの庭

園を発表されていたというこ

とです。本県では、江戸時代

以外室町期の庭園は一つも確

認されていません。

いずれこれらの鉄物や、彩

色地藏と共にこの庭園も文化

庁その他専門家の鑑定をわず

らわすことになることでしょ

う。もし私見の通りであった

とすれば、意外に古い松之山

町の歴史が改めて別の角度か

ら見直されてくる可能性もあ

ると思っています。

文責 平野国三

(上越市文化財調査審議委員)

郷土民謡教室

好評開催中

郷土民謡教室では会を重ねることに参加者が増え、活発な活動をしています。

松之山の民謡を覚えたり、踊ったりしてみたい方、途中からでも気軽に出掛けてみて

ください。

練習方法は、毎月九日と二十

二日の夜八時〜九時半頃ま

で、八時から九時まで各部

門練習、九時から合同練習を

しています。

▼踊りの部

東川の小野塚マチさん(坂本)の指導のもとに、セン

ター大会議室で実施してい

ます。途中入会の人々も先生、若葉会の方々が手ほどきを行います。参加者は二十〜四十名です。

▼楽器の部(三味線)

山岸貞雄さん・高橋イセさ

んの指導で、センター和室で練習しています。参加者

「三桶深田遺跡の発掘調査」

町史編さんの考古・原始班では、三桶部落の志賀永吉さん宅の裏の畑に埋まっている古代の遺跡（この地名をとって深田遺跡という）の、発掘調査を行いました。



夏休み中の中学生が発掘調査に協力してくれました。細かい作業で大変でした。

ながら土を掘ってくれていますが、この発掘を担当されている秦繁治先生（考古・原始）によると、この深田遺跡は縄文中期の終わりから後期の始めにかけてのもので、今から四千年から四千五百年前のものと思われ、発掘された土器などをみると長岡の馬高式・栃

尾の板倉式が多く、信濃川中流の影響を強くうけているようだという事です。

また、この遺跡の特徴は、石（物を叩く石の道具）やクルミの殻が出て来る事などから狩りでなく、木の実や魚をとって生活していたと思われる点です。もう一つ、石の剥離

片の元の手
石片の元の手
などお母さん
きれいに泥が落され
分けられます。



片（石を薄く剥いだ物）が非常に多く出土している所から、ここで石器を製造していたとも考えられるそうです。ここには一く三家族がかなり長い間生活していた様子が伺えます。

このような遺跡は黒倉の十字文字遺跡をはじめ、町内にも何カ所か発見されています。



きれいに泥が落された土器の破片。縄文土器特有のようが見られます。

八名。

▼民謡の部

保坂広一さん・久保田茂作さん・山口悌二さん・小野塚嘉男さんが指導にあたっています。（練習曲により先生が変わります）

参加者十二十五名で、口のあけ方、発声の仕方から勉強。

浦田松坂

主は百まで、わしゃ九十九まで共に白髪を生ゆるまでめでためだのこの家の座敷 鶴が酌して亀が舞う

松之山松坂
一つ唱いますはばかりながらカナの違いはごめんあれためだが三つ重なれば倉を建てます金庫を





大蔵寺高原についた葛飾の子供たち

松之山 葛飾

子供交換会

一緒に学んだ4日間

毎年、夏休みに行っている東京葛飾区の子供たちと、松之山の子供たちの交換会が、八月一日から四日までの日程で行われ、一緒にキャンプやハイキング・ぞうり作りなどして、交流を深めました。

今回、松之山を訪れた葛飾の子供たちは、小学校四年、六年生七十六人で、その他に指導員（ジュニアリーダー）の方も十四名参加し、全部で九十名の方が来町しました。

松之山の方は、町内各小学校の五年生四十九名が参加し、四日間一緒に交換しあいました。

第一日は、東京を午前中に出発した葛飾の一行が、午後三時に大蔵寺高原に到着。地元の小中学生と対面式・班編成をしたあと、キャンプをするためのテント設置や、夕食の準備にかかりました。夜はみんなでキャンプファイヤーなどして楽しんだり、友好を深めあったりしていました。

二日目は、釣りやハイキングなど班別に自由行動をしたり、浦田中学校まで下りて来て、地元の方たちからワラぞ



わらぞうり作りにチャレンジ

うり作りを習うなどしたあと、葛飾の子供たちは浦田地区で民泊。地元の子供たちは自宅へ帰りちよつとの間お別れです。

三日目は田舎立方面への厳しいサバイバルハイイク。じやがいも掘りをしたり、皆んなで昼食を作ったり。夜は大火大会もしました。

楽しい思い出がいっぱい出来た四日間だったと思います。

災害に備えて！

防災講演会

▽日時

昭和六十三年十月二十七日
午後二時～四時十五分

▽会場

リージョンプラザ上越（コ
ンサートホール）

▽講師

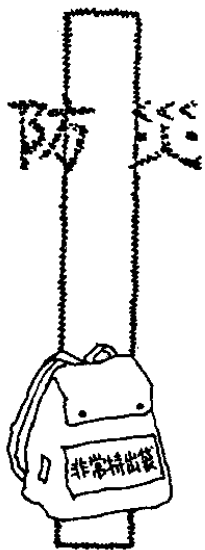
災害問題評論家・秋田一雄
先生（元東京大学工学部教
授）

▽演題

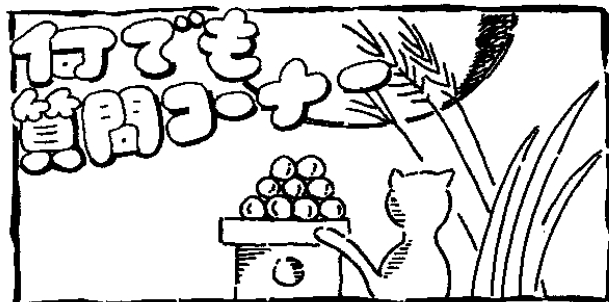
「技術社会と安全」

▽申し込み

松之山分遣所へ電話等によ
り申し込みください。
電話六二二三〇番。



このコーナーでは皆さんからの質問・意見・要望等を広く募集しています。担当者が責任をもって回答させていただきますので、どんな事でも結構ですからお寄せください。お待ちしております。



離町する人の宅地とそのまわりの田を、私の家と地続きの為、買ってあげようと思つて農業委員会にお聞きしたところ、「あなたは、耕作農地である田畑合わせて五反歩以下ですので、宅地は買えるが田畑は買えません。」と言われました。

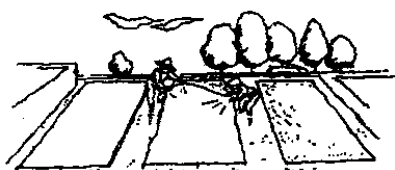
私の宅地・田と地続きである為、何とか一諸に買いたいのですが、どうしたら良いでしょうか。(下川手 志賀)

お答えします『農地の売買等の許可基準に、農地の権利取得後の経営面積が一般的な原則として、五反歩以上にならないと許可できないという規定があります。これを「下限面積制限」といいます。なぜ許可できないかというと、新たに農地(田・畑など)を取得した後にも、下限面積に満たないような零細経営農家では、生産性・自立性が低いことが多く、農用地の効率的な利用を目指す法律の趣旨に反するためです。

しかし、あなたの場合、そ

の農地を取得しないと、自作地の耕作条件が極めて悪い場合は、例外となることもあります。

産業課 農業委員会



みんなでさがそう

本当の新潟

ふるさと再発見運動に協力を!!

県では、観光資源を幅広くとらえ、地域の個性、特色の再発見・再評価により「ふるさと自慢」を選定し、県内外に広くアピールすることを目的とするふるさと再発見運動を実施いたします。

「ふるさと自慢」の選定に皆様方の積極的なご協力をお願いいたします。

一、観光客におすすめできる観光自慢の選定

「わがまち」の観光自慢を皆様の推薦により選定します。

・推薦方法 推薦用紙は役場振興課にあります。

二、県外出身者、外国の方の「新潟の感想」募集

県内在住の方々から新潟の観光をテーマとした感想

想、提言を募集します。

・応募方法等：四百字以内にまとめて県庁観光課あて応募。

▽応募期間 九月一日～二十
六日まで

▽問合せ先

新潟市新光町四一 県庁

観光課(〇二五―二八五―

五五一一) 又は、役場内

振興課

※抽選で千名に記念テレホンカードをプレゼントします。



まつのやま ⑬



いつものバレーボールと違ってハプニングが続出。でもおもしろかったです。

最近、松之山では新しいスポーツ大会が次々と登場し、町民の中にスポーツ熱が高まって来ましたが、八月二十八日の日曜日に農協主催による松之山では初めての「ミニバレーボール大会」が開催され、十六チームが参加しました。このミニバレーボールはどんなスポーツかご存知ですか？

ボールは普通のバレーボールより大きくて、スポンジみたいに柔らかく当たっても痛くありません。コートはバトミントンの広さを利用し、ネットの高さは一八〇センチと低くなっています。試合人数はその都度違いますが、この日は一チーム四人で行いました。このミニバレーボールのおもしろい所は、飛んで来たボールを必ず三回で相手に帰さなければいけない点です。例えばブロックなどして一回で帰すと失点になります。ボールが柔らかいため子供・女性でも気軽に出来るので、これから普及する種目かと思えます。この日の大会は第一回目とあって、珍プレー・好プレーが続出。参加された十六チームの皆さんは、大変楽しそうにプレーしていました。また

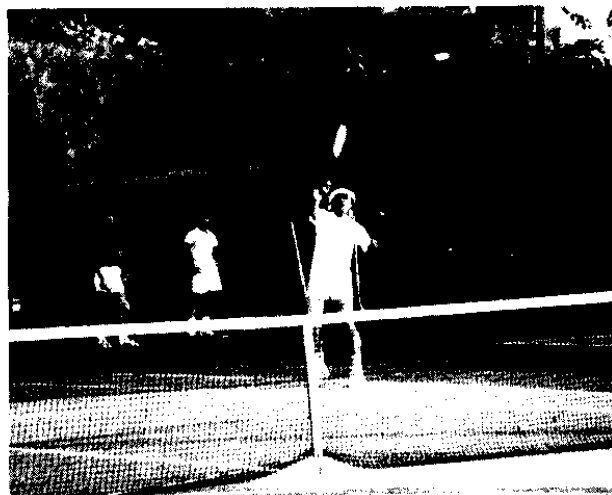
またまた新しいスポーツ登場 ミニバレーボール大会



子供たちを主体にした「ジャンケン大会」。豪華な商品がいっぱい

応援にかけつけた子供たちも参加してのジャンケンゲームも行われ、にぎやかな大会となりました。ミニバレーボールの入賞チームは次のようになりました。
優勝 東川バレーチーム
準優勝 高校生チーム
三位 松之山Bチーム

第7回 町長杯争奪テニス大会



八月二十一日の夕方四時から、休養村センター前のテニスコートで、第七回の町長杯争奪テニス大会が行われ、男女混合ダブルスに八チーム・男子ダブルスに六チームが参加して熱戦を繰り広げました。近年、日本のテニス人口はどんどん増加しているようですが、松之山では一時期より減る傾向にあります。それでも若者を主体に愛好家も沢山いて、年一回大会を開催して

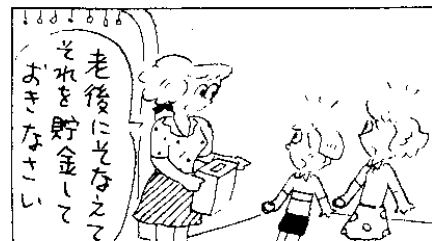
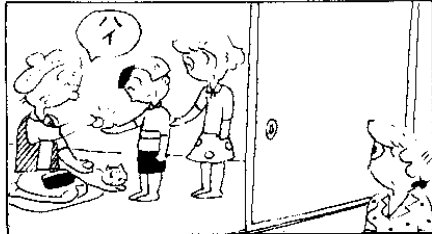
います。

今回の結果は次のようになりました。

▼混合ダブルス	
一位	柳 隆晃 組
二位	樋口 幸宏 組
▼男子ダブルス	
一位	渡辺 進 組
二位	柳 隆晃 組
三位	樋口 幸宏 組

さわやか君

西村 宗



9月15日は敬老の日

健康は一生の“財産”

昭和62年の日本人の平均寿命をみると、男性が75.61歳、女性が81.39歳となり、前年よりも約0.4歳延びました。

男・女とも世界のトップの長寿国です。しかし、長寿の反面、お年寄りの皆さんがどのくらい健康で老後の生活をしているかという、多くの方は何らかの病気をかかえながら過していると言われます。昭和61年度のある調査では、65歳以上のお年寄りの有病率（何らかの病気を持っている人の割合）は、1,000人中644.5人にもものぼり、かなり高い数字が出ています。

これからますます寿命が延びる事と思います。若いうちから日々の健康づくりを心がけ、健康な老後生活をしたいものです。

敬老の日を迎えるにあたり、松之山町で長寿な方々を紹介いたします。

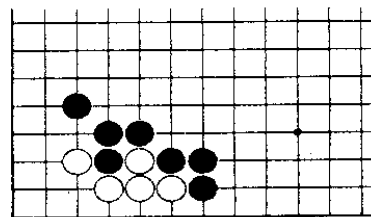
町内長寿ベスト20 /

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ①福原 タマさん 99歳 (天水越) | ⑪佐藤 マチさん 90歳 (天水越) |
| ②保坂 タツさん 95歳 (松 口) | ⑫小口 武男さん 90歳 (松之山) |
| ③相沢喜重郎さん 93歳 (水 梨) | ⑬村山 カネさん 90歳 (赤 倉) |
| ④相沢シサノさん 92歳 (小 谷) | ⑭高橋 よ志さん 89歳 (天水島) |
| ⑤久保田ヲヨさん 92歳 (新 田) | ⑮小野塚一平さん 89歳 (東 川) |
| ⑥相田 弥吉さん 92歳 (大荒戸) | ⑯高橋 ツルさん 89歳 (天水島) |
| ⑦高橋 スミさん 92歳 (中 尾) | ⑰福原 正 さん 89歳 (東 川) |
| ⑧田中 ハヤさん 91歳 (小 谷) | ⑱本山 ツヤさん 89歳 (田麦立) |
| ⑨山口 トメさん 91歳 (藤 倉) | ⑲村山 ハルさん 89歳 (松之山) |
| ⑩津端 コトさん 90歳 (光 間) | ⑳久保田和七さん 89歳 (松之山) |

(9月1日現在満年齢)

有段を目指して

9月号 出題



黒先白死 (5手まで)
外から攻めます。

詰碁の回答を募集しています。今回の応募期限は九月二十六日(月)までとします。正解者には粗品を進呈。(役場議事事務局まで)

戸籍の窓

おめでた (出生)

裕子ちゃん 設楽長栄さんの二女 (観音寺)
一仁ちゃん 丸山公宏さんの長女 (上の山)

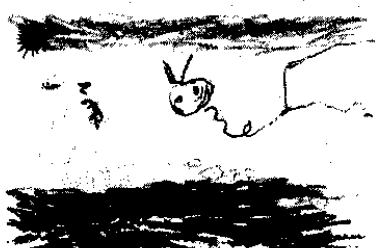
おくやみ (死亡)

福原 音治さん 77歳 (小 谷) 平 田
佐藤 幸栄さん 74歳 (月 池) つんね
樋口 きぬさん 74歳 (中 尾) 巾
早川 カクさん 87歳 (北浦田) 勘 兵

* 8月1日から31日までの届出分です。

ぼくの絵 わたしの絵

松之山保育所 年中組



おばけがばけてゲタ箱から出てくるの



たきざわてつやくん



くわがたをつかまえるところ



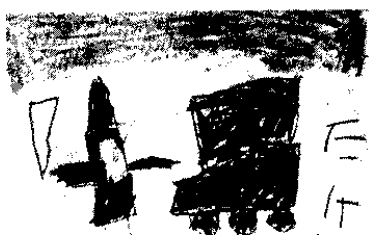
さかなつりをしているところ



すずきまさひこくん



たなべすすむくん



ロケットと消防車



むらやまたけしくん

第五回松之山町ゲートボール大会

松之山寿楽会 強し

今回で第五回目を迎えた町内ゲートボール大会が八月二十九日、町民グラウンドで開催され、町内のゲートボール愛好家の皆さんで作られた十六チームが、参加されました。

今年には不思議なことに、ゲートボール大会という大雨が降り、何回か中止になってしまい愛好家の皆さんをガッカリさせていましたが、この日は晴天で、皆さんのびのびプレーをしていました。

四つのコートを使って四チームずつで予選を行い、各ブロックで一番勝ったチーム同志(四チーム)で準決勝・決勝を行った結果、松之山寿楽会Aチーム・Bチームがそれぞれ一位・二位となり、上位を独占してしまいました。強いですね。三位には大荒戸B、四位は湯山松楽会チームでした。

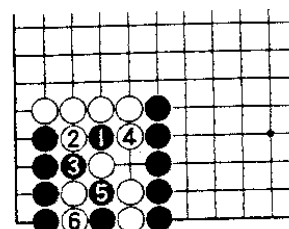
ゲートボールは技術もそうですが作戦が難しく、各チームの監督さんは大変苦労していました。

- 優勝 松之山寿楽会A
- 準優勝 B
- 三位 大荒戸B
- 四位 湯山松楽会

詰碁 8月号の解答

正解者

若井千代松さん(小谷)
村山 伸 さん(湯 本)
久保田光栄さん(天水島)



編集後記

厳しかった残暑も九月の声を聞いたとたん影を潜め、涼しい秋風が吹くようになりました。

いよいよ収穫の秋を迎えます。心配された稲の作柄も平年並みか、やや豊作という発表がありました。毎年この時期にハセ掛けや、機械によりケガをされる方が沢山います。忙しさの中にもゆとりを持って、ケガのない農作業に努めてください。

広報まつのやま 63年9月号

□毎月1回10日発行

□発行/松之山町(6)3131

□編集/議会事務局